

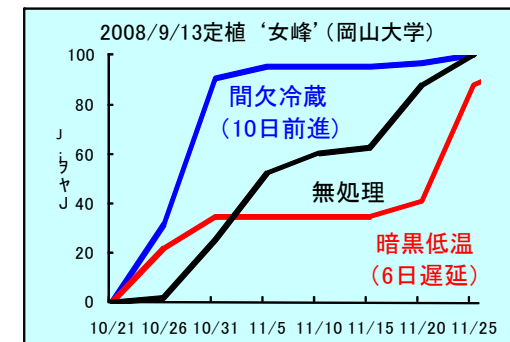
産学連携コーディネーター 優良事例

【NPO法人 中国四国農林水産・食品先進技術研究会 支援】

◆間欠冷蔵処理によるイチゴの花芽分化促進技術の確立(2010～2012年度)

共同研究機関： 岡山大学、香川県農業試験場、香川県農政水産部農業経営課、奈良県農業総合センター(研究開発部)、奈良県農業総合センター(普及研修部)等(6機関)

研究概要： 促成栽培イチゴの生産性向上を進めるため、簡便で低コストの花芽分化促進法である「間欠冷蔵処理」を実用的な新技術として確立する。
‘女峰’で顕著な効果が認められた処理について他の主要な栽培品種の反応を明らかにするとともに、処理温度や処理サイクルなどを比較検討して最適な処理条件を明らかにする。また、生産現場への早急な普及に向けて普及指導機関や生産者組織の協力を得て産地での現地実証試験を実施する。



課題提案者の感想： 産学官連携コーディネーターの支援に対して



岡山大学
吉田 裕一教授

平成22年度の『間欠冷蔵処理によるイチゴの花芽分化促進技術の確立』の申請に当たり、中国四国農林水産・食品先進技術研究会(略称:中四国アグリテック)を活用し、課題の整理や共同研究方法について有用なアドバイスを頂きました。

また中国四国農政局の関係者の情報や意見交換が応募にあたって大いに参考になりました。